

第 7 5 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 27 年 1 月 23 日(金)

沖縄総合事務局

第75回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成27年1月23日（金）14時00分
場 所 沖縄総合事務局 5F 「海技試験室」

出席者 :

公益委員	宮里委員、儀部委員、春田委員
労働者委員	姫路委員、大崎委員、辻委員
使用者委員	大城委員

沖縄総合事務局	宇崎船舶船員課長、玉城海事振興調整官 竹之内課長補佐、池原（労政担当）
---------	--

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第74回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 最低賃金の改正に関する意見要旨公示について
4. 「海事教室」の実施について
5. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第74回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成26年12月分）
3. 意見要旨の官報公示
4. 「海事教室」募集チラシ

宮里部会長

定刻でございますので、会議を始めさせていただきます。
本日の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（池原）

本日は、公益委員3名、労働者委員3名、使用者委員1名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告いたします。

（配付資料の確認）

宮里部会長

はじめに、第74回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。お手元に配付されております議事録を御確認ください。

議事録のとおりでよろしいでしょうか。

各委員

（「異議無し」）

宮里部会長

異議無しということで、第74回船員部会議事録承認について、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況について」事務局に説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（竹之内補佐）

平成26年12月分の管内雇用等状況等の概要を説明させていただきます。

●求人状況について

新規求人数は4件でした。

前月は4件で増減無し。前年同月は0件で4件増加となっております。

月間有効求人数は11件でした。前月は16件で5件減少。前年同月は8件で3件増加となっております。

月間有効求人数11件の内訳としましては、商船等10件、漁船1件となっております。月末未済求人数は6件でした。

●求職状況について

新規求職数は5人でした。前月は12人でしたので、7人増加。

前年同月は、2人で、3人増加となっております。新規求職数の内訳としましては、商船等5人、漁船0人となっております。

月間有効求職数は21人でした。前月は24人でしたので3人減少。

前年同月は12人でしたので9人増加となっております。月間有効求職数21人の内訳としましては、商船等17人、漁船4人となっております。月末未済求職数は10人でした。

● 成立状況について

12月は、管外に2件の採用が決まりました。

成立状況としましては、近海の貨物船に機関長として60代男性1人、沿海の貨物船に機関長として60代男性1人が採用されました。

● 求人倍率について

12月の月間有効求人倍率は0.52倍でした。前月は0.67倍でしたので0.15ポイント減少。

前年同月は0.67倍でしたので0.15ポイント減少となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

12月の新規求職者5人のうち、離職者3人の退職理由としては、船舶所有者都合が2人、自己都合が1人となっております。離職以外の方の2人の求職理由としては、就業中で転職希望が2人となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地については、管内が3人、管外が2人となっております。

● 失業等給付支給内訳について

受給者実人員は2名。支給延べ件数は2件で、基本手当支給は321,701円。その他の支給はありませんでしたので、総支給額は321,701円でした。

宮里部会長

ただいまの説明につきまして、質問等はございませんか。

無いようでしたら続いて、最低賃金の改正に関する意見要旨公示及び海事教室の実施について事務局から報告をお願いします。

事務局（池原）

意見要旨の官報公示について、去る12月19日に行われました船員の最低賃金の改正に関する答申について、1月21日付け意見の要旨に関する官報が公示されました。15日間公示され、その期間内に異議申し出がなければ決定の官報公示の手続に進むこととなります。

決定公示の公示期間は30日間となっておりますので、遅くとも3月下旬までには効力が発生する見込みとなっております。

続けて、海事教室の実施について説明します。

運輸部が事務局となる沖縄若年内航船員推進協議会の取組みの一つとしまして、小学生を対象とした海事教室を来る2月11日実施に向け、準備しているところです。

平成23年の協議会立ち上げから取組みを実施し、今年度で4回目となります。

今回は「フェリーとかしき」に乗船し渡嘉敷島に渡り、学習を考えております。

現在は参加者の募集段階ですので、来月に間に合えば実施後の報告もさせていただきたいと思います。

宮里部会長

ただいまの報告について、質問等がございますでしょうか。

大崎委員（労）

この渡嘉敷の海事教室は、先着順と書いてるんですが、参加人数は裏面記載の生徒・児童が40人ですか。その家族又は教師の人数がないんだけども。

事務局（池原）

記載はございませんが、児童と同じ人数は受入可能と考えています。

辻委員（労）

グループ参加も可能があるので、例えば児童10人で引率者1人というパターンでも良いということですか。

事務局（池原）

可能です。

辻委員（労）

80人程度の定員枠は大丈夫ということですね。

事務局（池原）

児童については、40人を達し次第受付を締切る予定です。

辻委員（労）

昨年は何名参加しているんですか。

事務局（池原）

昨年の参加者は、50人足らずだと記憶しています。児童は20人余りで、引率者も大体同じ人数でしたので、昨年を参考とすると児童定員の倍の80人が最終的に参加するものと予想されます。

辻委員（労）

昨年も今回の募集人数と同じくらいの枠を設けていたわけですか。

事務局（池原）

昨年の募集人数の枠は手元にデータが無いのでわかりませんが、昨年は渡航は行わず、着桟中の船内見学のみでした。

春田委員（公）

このイベントは、どのように公募されているんですか。

事務局（池原）

那覇市、浦添市の小学校の対象児童にチラシを配付しております。

事務局（宇崎課長）

チラシについては、1万数千部作成し、両市の4年生以上の児童全員に渡るようになっています。

宮里部会長

こういった体験は楽しそうでいいですね。

辻委員（労）

実際、船に乗船して体験するのは非常に良いと思いますが、この40人という枠は少ないので、もうちょっと多い方が良いのかなと。

事務局（宇崎課長）

そうですね。ですが、予算の関係もございますので。

宮里部会長

無料ですからね。

辻委員（労）

これは通常の運航の際に行うんですか。

事務局（池原）

チャーターはしておりません。

事務局（玉城調整官）

児童や保護者の運賃も全部予算組みしていますので、人数も限られています。

事務局（宇崎課長）

昼食、運賃、保険の代金も含めて無料となっています。

辻委員（労）

そういった費用も無料なら良いですね。着桟中の見学よりは、やっぱり乗船して行ける方が良いかと思います。

事務局（池原）

過去、事業実施後にアンケートを採っていますが、実際の動いた船に乗船したいという意見・要望も多かったので、今回実施することになりました。

辻委員（労）

船内見学の操舵室や機関室は運航中にできるんですか。

事務局（池原）

船内見学は、渡嘉敷島に着桟してからになります。

大崎委員（労）

運航中は無理だよ。

事務局（玉城調整官）

運航中の船内見学は、危険が伴いますので行わないようにしています。

大崎委員（労）

ちなみに渡嘉敷の航路は、鯨は見れるんですかね。

事務局（玉城調整官）

運が良ければ見られるかもしれません。

宮里部会長

ちょうど良い時期に入っていますんで、見られるかもしれませんね。

辻委員（労）

海事教室は、申込みの締切りは設けず、先着順ですか。

春田委員（公）

この申込みはどうするんですか。

事務局（池原）

募集開始が1月28日からで、先着順としています。応募方法はファックスかメールで受け付けます。

宮里部会長

他に何か意見等ありますか。

大崎委員（労）

求職と求人の関係において、免状を持っていないが船乗りになりたいっていう人がいた中で、現在求人を求めてる会社で免状がなくてもいいという会社はありますかね。

事務局（竹之内補佐）

そういう求人もあったかと記憶しています。

大崎委員（労）

漁船ではなく、汽船のほうで今出している求人票を見たことはあるということですか。

事務局（竹之内補佐）

そうです。部員の求人ですよね。

大崎委員（労）

求職で船に乗りたいという方がいて、現在、総合事務局の持っている資料では免状がなくてもいいっていう船社さんはいるよと。免状がなくて求

職を求めたときに、その方は直接、総合事務局に来るのか、ハローワークから回ってくるのか。

事務局（竹之内補佐）

どっちもありますが、船員さんに興味があるという方は、ハローワークから当局に紹介いただいてます。最近は特に多く、免状が無い、小型の免状しか持っていない方が結構来られています。船に興味があり求人状況を見に来られた場合は、必ず求職票を用いてエントリーしてもらい情報を閲覧しているのが実情です。

大崎委員（労）

そのときにはハローワークの求職活動と総合事務局の求職活動は並行してやっていいわけですかね。

事務局（竹之内補佐）

特に制限は設けていません。

大崎委員（労）

ないんですか。了解です。また、求人の中で船社さんが免状がない方も乗れるっていうのがあれば、うちにも少しほは教えていただきたい。それはネットで公表しておられる会社、オープンにできる会社ですか。

事務局（竹之内補佐）

今は、インターネットで見れる会社がほとんどです。

大崎委員（労）

そうなんですか。そしたら見てみます。

事務局（竹之内補佐）

免状の無い方の求人は過去にあったものと記憶しておりますが、求人票の紹介期限が最大2ヶ月となっていることから、その期限が経過し、再度求人票の手続きをしていない場合インターネットからも求人情報は閲覧できませんのでご了承ください。

大崎委員（労）

そしたら、ネットでちょっと見てみます。ありがとうございます。

宮里部会長

例えば、免状は何もないけれども、船会社のほうで資格を取るための援助をするからっていう制度みたいなのはないんですか。例えば、職業訓練との関係で働きながらその資格を取得に向けて何かそういう補助金とかね、そういう制度はないんですか。

事務局（池原）

海上運送法で、日本船舶と日本人船員の確保という基本方針があり、それに関する補助制度がございます。船会社が申請していただいて、船員の

経験が無い方、30歳未満等の条件をクリアできれば、免許をお持ちでない方に対して6級海技士を取得させるためにかかった経費を上限を設けて補助する制度はあります。

宮里部会長

建築関係でも設計士の免許を取るとか土木技士の免許を取るために、そういうたった一定程度の援助をするっていう制度があるようです。やっぱり船舶の方もあるんですね。

沖縄で、その制度を活用している船会社はあるんですか。

事務局（池原）

現在、3社ございます。この制度は免許の取得だけでなく、経験が無い方等の雇用を6ヶ月の上限を設けて補助ができるようになっています。

宮里部会長

給与補助のようなものですかね。

辻委員（労）

実際、船に乗るに当たって、免状が無くて乗る方っていうのは、もう、かなり限られてきてるのが現状なんですね。大型船であれば、部員ということで未経験でもある程度やればそういう定員には組み込めるわけですが、そういう枠としてある会社がかなり限られてきてるので、実際そうやって制度として使って乗った後にやるっていう受け入れ会社がやっぱり少ないので今ちょっと問題かなと。

会社として完全に1人余分に乗せないといけないという形になってしまって、なかなかその制度としてうまくなかなかマッチングしていないかなと。

そうは言っても他の会社でもやっぱり船員不足というのはもう顕著になってきてるんで、自分達で養成するぐらいの覚悟がないと、多分このままでは船員がいなくなるんじゃないかなというふうな状況ではあります。

宮里部会長

他に何か意見等ありますか。

辻委員（労）

我々が、年に3回行っております外国船の査察ということで、FOC・POCキャンペーンで、今回は7月27日から29日の実施を予定しております。ここ最近、ちょっとタイミングが合わず、入港船が無く査察ができない状況ではあるんですが、査察を行い特筆する部分があれば、また来月でも報告させてもらいたいなと思いますので、よろしくお願いします。

宮里部会長

他に無いようでしたら事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局（池原）

次回、2月の船員部会は2月27日金曜日14時より、会場変わりまして1階の共用会議室で開催いたします。

宮里部会長

それでは、本日の部会は以上で終了します。